

## 平成 25 年 10 月 1 日現在の保育所待機児童数について

平成 25 年 10 月 1 日の待機児童数は、前年比で 71 人減少（約 24%減）し、231 人となりました。

また、25 年 4 月 1 日の待機児童数と比較すると、年度途中の申込の増加により、231 人増加となりました。

### 1 待機児童数等の状況

#### 【待機児童数】

(単位：人)

区分	24 年 4 月	24 年 10 月 (a)	25 年 4 月	25 年 10 月 (b)	差し 引き (b-a)
就学前児童数	191,770	191,501	190,106	190,048	▲1,453
保育所申込者数(A)	45,707	48,795	48,818	52,589	3,794
入所児童数(B)	43,332	44,877	47,072	49,038	4,161
入所保留児童数(C)=(A)-(B)	2,375	3,918	1,746	3,551	▲367
横浜保育室等入所数(D)	1,117	1,551	877	1,371	▲180
横浜保育室	965	1,233	716	1,089	▲144
家庭的保育事業	59	86	84	111	25
幼稚園預かり保育	5	12	3	15	3
事業所内保育	19	34	22	47	13
一時保育・乳幼児一時預かり施設	69	186	52	109	▲77
育休関係 (E) (*)	186	668	203	808	140
主に自宅で求職活動されている方 (F) (*)	213	250	100	198	▲52
特定保育園のみの申込者など(G) (*)	680	1,147	566	943	▲204
待機児童数 (H) = (C) - [(D)+(E)+(F)+(G)]	179	302	0	231	▲71

(\*) 補足説明

- ・育休関係：10 月 1 日に育休を取得されている方
- ・主に自宅で求職活動されている方：ご自身等でお子さんをみながら、インターネットなどを利用し、在宅で職を探している方
- ・特定保育園のみの申込者など：1 か所しか申し込んでいない方、2 か所以上申し込んだ方で内定した保育所があるにもかかわらず、第 1 希望等の保育所しか入園を望んでいない方、お申し込みをされた園や自宅の近くに入所可能で空きがある保育施設があるにもかかわらず入所を希望されない方 など

※保留児童の方も待機児童の方も入所選考の対象であることに違いはなく、選考にあたり優劣をつけるものではありません。

## 2 待機児童の状況

### (1) 年齢別の状況

- ・0～2歳の低年齢児で、全体の約94%を占めています。

(単位：人)

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
25年10月(a)	82	104	30	13	2	0	231
25年4月	0	0	0	0	0	0	0
24年10月(b)	115	107	33	40	7	0	302
24年4月	9	96	27	40	7	0	179
増減(a-b)	▲33	▲3	▲3	▲27	▲5	-	▲71

※年度途中で保育所の空きがない場合は、ランクの審査決定を行わないため、ランク別状況は把握していません。

### (2) 認可保育所の定員外入所・定員割れの状況

・認可保育所 582 園のうち、331 園 (2,966 人) で、定員外入所を実施しています。25 年 4 月比では、65 園 (768 人) 増となっています。

・一方、161 園 (1,121 人) で定員割れが生じています。25 年 4 月比では、92 園 (975 人) 減となっています。なお、定員割れ (1,121 人) の約 9 割が幼児 (2～5 歳児) の枠となっています。

・新設保育所の 4・5 歳児枠については、新規入所を希望される方がほとんどなく、2 歳、3 歳の在籍児童が進級後には埋まる枠であるため、開所後 2 年間は、定員割れの算定から除いています。

※市内の認可保育所(市立保育所を含む)の入所率：約 104.5%

(市外のお子さんも含む。新設保育所の 4・5 歳児枠については、算定から除く。)

		定員外入所数			定員割れ人数		
		25年4月(A)	25年10月(B)	差引(B-A)	25年4月(A)	25年10月(B)	差引(B-A)
箇所数		266園	331園	65園	253園	161園	▲92園
人数		2,198人	2,966人	768人	2,096人	1,121人	▲975人
内訳	乳児(0～1歳)	481人	921人	440人	694人	114人	▲580人
	幼児(2～5歳)	1,717人	2,045人	328人	1,402人	1,007人	▲395人

## 3 26年4月に向けた取組状況

- ・26年4月に向けて、保育所整備を進めており、28園が新たに開所する見込みです。
- ・また、保育所整備のほか、NPO等を活用した家庭的保育事業や幼稚園預かり保育などの受入枠拡大に向けて、引き続き、年度末まで調整していきます。
- ・さらに、今年、国が発表した「待機児童解消加速化プラン」を活用するため、25年度12月市会に、小規模保育モデル整備事業や保育士宿舍借り上げ支援事業などの補正予算を提案しています。市会で議決されましたら、事業を進めていきます。
- ・保育施設の急速な整備に伴い、保育士の確保が重要な課題となっています。私立園長会・ハローワーク等関係団体と連携し、就職説明会や就労支援講座・就職面接会を開催しています。25年度の就労支援講座は、全4回中2回がすでに終了しており、今後、12月14日と26年1月23日の2回を予定しています。

## 参考資料

### 区別の状況

- ・待機児童が一番多い区は港北区で88人、一番少ない区は栄区と瀬谷区で0人です。
- ・前年比では、減少した区は12区あり、最も減少したのは鶴見区で21人減です。

区名	平成24年10月1日現在				平成25年10月1日現在				待機児童 前年比 (人)
	認可 施設数 (か所)	認可 定員数 (人)	入所 児童数 (人)	待機児童 総数 (人)	認可 施設数 (か所)	認可 定員数 (人)	入所 児童数 (人)	待機児童 総数 (人)	
鶴見	38	3,640	3,767	68	48	4,360	4,273	47	▲ 21
神奈川	28	2,628	2,811	5	34	3,058	3,160	18	13
西	11	767	772	1	12	820	817	1	0
中	19	1,386	1,424	4	23	1,680	1,683	4	0
南	23	1,928	2,026	5	29	2,311	2,344	2	▲ 3
港南	34	2,959	3,057	4	37	3,159	3,232	8	4
保土ヶ谷	27	2,415	2,405	13	30	2,603	2,585	2	▲ 11
旭	31	2,697	2,786	11	34	2,819	2,893	6	▲ 5
磯子	20	1,781	1,835	9	23	2,036	2,009	4	▲ 5
金沢	29	2,375	2,609	4	36	2,858	2,810	2	▲ 2
港北	49	4,299	4,328	91	57	4,935	4,845	88	▲ 3
緑	32	2,598	2,568	11	33	2,725	2,758	10	▲ 1
青葉	41	3,338	3,181	30	45	3,626	3,422	21	▲ 9
都筑	35	2,993	3,026	6	37	3,168	3,264	8	2
戸塚	41	3,456	3,497	16	44	3,670	3,794	6	▲ 10
栄	12	1,176	1,275	8	14	1,301	1,369	0	▲ 8
泉	24	2,187	2,259	16	27	2,470	2,422	4	▲ 12
瀬谷	17	1,249	1,251	0	19	1,437	1,358	0	0
合計	511	43,872	44,877	302	582	49,036	49,038	231	▲ 71